

学校努力点テーマ 「育てよう生き生きと学ぶ松原っ子」

— よく知ること よく考えること よく表現することを通して —

※ 今年度は、「考えが深められるように」授業実践に取り組みます。

2年 学級活動「雨の日の過ごし方を考えよう」の実践

雨の日でも、友達と楽しく、仲良く過ごすために、学級で行うゲームを考えました。室内で行うゲームを計画する上で、「仲良く、楽しく行うこと」を主な課題として、「多くの人数で遊べるか」「安全面は確保されているか」の2点を満たす遊び・レクを考えさせることで、雨の日にふさわしい過ごし方を意識させました。

○ よく考えるための手だて

① 自分の考えをもつことができるように

この授業では、2つ目の手だて「対話をして、考えが深められるように」に焦点を当てて実践しました。

② 対話をして、考えが深められるように

班ごとの対話において、「多くの人数で遊べるか」「安全面は確保されているか」という2点を主な軸として考えさせるために、**思考ツール（座標軸）**を活用させました。そうすることで、**視覚的に思考を共有させやすくし、活発な対話を促しました。**そして、**まとめにおいて、思考ツールを板書し、学級全体の思考を共有させることで、室内で過ごすときには、「楽しさ」「安全」などといったポイントが大切だということに気付かせました。**

○ 授業の様子（アンダーライン：今後の課題）

まず、今まで行ったことがある遊び・レクにおいて、危なかったことやけんかになってしまったことを尋ねると、「走っていてけがをした」「ルールが守れずけんかになった」などの経験があることが分かりました。それらの経験を基に、「楽しい」「安全だ」と感じるのは、全員がルールを守り、危険を伴うことのない遊び・レクであることを共有しました。

その後、右の写真のように座標軸を使って「椅子取りゲーム」「おりがみ」などの遊びが、どこに位置するのかをグループで話し合いました。それぞれの遊びについて、「これは危ないからやめよう」「これはみんなで遊べるからいいね」などの意見を交わし合う姿が見られました。また、安全面や楽しさについての課題を解決するためのルールや、活動の仕方の工夫を話し合うことで、右のように考えを深めているグループもありました。

最後に、全体の話し合いにおいて、グループで考えたことを全体に向けて発表しました。全体で共有しやすいように、黒板に拡大した

座標軸を貼り、それを用いて行った発表では「この遊びは、座標軸ではこの部分にあたります。なので、安全に楽しく遊べるとおもいます」というようにグループで話し合った意見を踏まえて発表をすることができました。

自分の意見に、他の人の意見をプラスして、新しいルールや考えを生み出すことができた場面もありましたが、自分の意見と友達の見解の違いをうまく受け入れることができず、比較して考えることが足りなかったということもありました。また、同じ遊びでもグループによって座標軸の異なる位置に示すことがあったので、そのような点を比較させることで、さらに思考を促し考えを深めることができるのではないかと考えます。



【座標軸を使って話し合う様子】

【グループで考えを深めている様子から】

- 夢中になると走っちゃうけど、歩かなければいけないというルールを決めれば、安全になるんじゃないかな。
- コマ回しだと、一人でしかできないけど、チーム戦にしたら、みんなで楽しくできるね。